

⑨ 市民と行政の協働を進めるまち

市民が地域に貢献するために

まちづくりの 指針

市民・地域・各種団体と行政とが、情報を共有しながら相互に理解を深め、共通の目標に向かってそれぞれの役割を果たすために、市民が市政に主体的にかかわるとともに、地域コミュニティが元気になるようなまちづくりを進めます。



実現のための まちづくりの 方向性

- 1 市民の市政への参画が活発なまちづくり
- 2 地域活動がさかんなまちづくり

1. 市民の市政への参画が活発なまちづくり

現状と課題

本市では、さまざまな分野で市民との協働を進めるとともに、市民参画の機会を拡大していますが、今後も更に多くの場面で市民と行政が協働する体制づくりが必要です。
 また、市民や各種団体と行政とが協働して、地域の振興に取り組む意識を互いに持つ土壌づくりが、今後の課題となっています。

市役所の役割

- 市民協働体制の整備
 - ◆市民の協働意識を高めるため、積極的な情報提供により行政課題を明らかにするとともに、市政の取組、進め方等を説明する機会を設けます。
 - ◆役所の既存の組織にとらわれることなく、総合的に市民と協働を進める体制を作ります。
 - ◆市民の意見が反映されるシステムの構築を進めます。
 - ◆協働の担い手となる人材の発掘、育成、NPO 等の組織づくりの支援を進めます。

市民への期待

市民には、行政サービスに必要な費用を税金等として負担しているという自覚を持つとともに、市民一人一人が身近なところからまちづくりに参画することが期待されます。

2. 地域活動がさかんなまちづくり

現状と課題

価値観が多様化する中、市民がその経験、知識を活かしながら、NPO などの自主的な活動にかかわろうとする動きが芽生えてきています。反面、地域コミュニティ意識は希薄化し、住民同士のつながりは弱まっており、多くの地域課題を解決する主役として、市民の自発的な力が求められています。それぞれが持つ能力や経験を活かし、自主・自律型の地域社会づくりを進めることが課題になっています。

市役所の役割

- 地域活動の活性化
 - ◆地域コミュニティの活動への支援や拠点整備に関する支援を行うことで、地域活動の円滑化と活性化を促進します。
 - ◆市の施設のうち、地域が主体になることが望ましいものについて、積極的に運営・管理を委託します。
 - ◆自助・共助の意識を醸成し、連帯感を持って互いに助け合う地域社会の形成を促進します。

市民への期待

市民には、地域コミュニティの活動に積極的に参加し、地域の力を高めていくことが期待されます。また、住民自治の進んだ分権型社会をつくり上げるため、自主的・自律的な意識・活動を育てていくことが期待されます。

窓口風景



住民懇談会



住民による清掃活動

